

平成4年11月24日

毎月第4火曜日の豊島区学校空き缶デー

今日から区立小学校全29校で本格実施

9月22日から豊島区立小学校7校でモデル実施されていた毎月第4火曜日の『学校空き缶デー』が、今日からいよいよ全29校(児童数合計:約9,950名)に拡大され、本格的な実施に入った。

この『学校空き缶デー』は、児童が各家庭から持参した空き缶を、登校時に校門付近に区が設置した回収箱でアルミ缶とスチール缶とに分別回収、再資源化する。また、アルミ缶の売却益については、各学校ごとに検量してPTA活動などの資金として還元されるというシステム。

しかし、あくまでも『学校空き缶デー』の目的は、大量の空き缶を回収することではなく、児童に対する資源・環境・リサイクル意識の普及啓発。児童が持参する空き缶の数についても「登校の支障にならない程度」(区リサイクル推進課)を基準としている。

生活の中にリサイクルの意識を根づかせるためには、何よりも子どもの頃からの実践が不可欠。東部地区の7小学校のみでのモデル実施期間中にも、他の小学校から「早く実施させてほしい」と催促があったというこの『学校空き缶デー』は、23区でも初めての試みとして大きな注目を集めている。

【参考】

実施日	実施校	アルミ缶	スチール缶	合計	1人平均
9/22	7校(2,706名)	6,000缶(120kg)	2,750缶(110kg)	8,750缶(230kg)	3.2缶
10/27	7校(")	5,500缶(110kg)	4,750缶(190kg)	10,250缶(300kg)	3.8缶

詳細 リサイクル推進課 事業係